

通信教育実施計画

教育課程表

教科名	科目名	単位数	1 年次	2 年次		3 年次	
			標準	標準	特別進学	標準	特別進学
国語	現代の国語	2	2				
	言語文化	2	2				
	論理国語	4				4	4
	文学国語	4				4	4
	国語表現	4		4	4		
	古典探究	4		4	4		
地理歴史	地理総合	2	2				
	地理探究	3					
	歴史総合	2	2				
	日本史探究	3		3	3		
	世界史探究	3			3	3	
公民	公共	2	2				
	政治・経済	2		2	2		
数学	数学Ⅰ	3	3				
	数学Ⅱ	4			4		
	数学 A	2	2				
	数学 B	2					
理科	科学と人間生活	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	化学基礎	2		2	2		
保健体育	体育 1	2	2				
	体育 2	2		2	2		
	体育 3	3				3	3
	保健 1	1	1				
	保健 2	1		1	1		
芸術	書道Ⅰ	2	2				
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3				
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4		
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4
家庭	家庭基礎	2	2				
情報	情報Ⅰ	2		2	2		
総合探究	総合探究 1	2	2				
	総合探究 2	2		2	2		
単位数合計			2 9	2 8	3 5	1 8	1 5

標準：週 5 日コース（進学/公務員/IT/ゲーム/声優・アニメクラス）、週 3 日コース、週 1 日コース、オンラインコース

通信教育実施計画

科目		単位数	教科書・副教材等				
現代の国語		2 単位	新編現代の国語（東京書籍）、新編現代の国語【学習書】（NHK 出版）				
学習の目標							
1 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。							
2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。							
3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
スクーリング	1 単位時間×1		レポート	全 6 回		定期試験	あり
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	1. ルリボシカミキリの青		2 回	1 回			
5	1. ルリボシカミキリの青	第 1 回	4 回		(1 回)		
6	2. 未来をつくる想像力	第 2 回	3 回		(1 回)	前期中間	
7	3. 無彩の色	第 3 回	2 回		(1 回)		
8	夏季課題				1 回		
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	4. 鍋洗いの日々	第 4 回	4 回	1 回	(1 回)		
11	5. 美しさの発見	第 5 回	3 回		(1 回)	後期中間	
12	6. 真の自立とは 冬季課題	第 6 回	2 回		(1 回)		
1	6. 真の自立とは		3 回				後期期末
2	まとめ		2 回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
言語文化	2 単位	新編言語文化（東京書籍）新編言語文化【学習書】（NHK 出版）					
学習の目標							
1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。							
2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。							
3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
スクーリング	1 単位時間×1	レポート	全 6 回	定期試験	あり		
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	1. さくらさくらさくら		2 回	1 回			
5	1. さくらさくらさくら	第 1 回	4 回		(1 回)		
6	2. とんかつ	第 2 回	3 回		(1 回)	前期中間	
7	3. 柳あをめる【短歌】/雪の深さを【俳句】	第 3 回	2 回		(1 回)		
8	夏季課題				1 回		
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	4. 羅生門	第 4 回	4 回	1 回	(1 回)		
11	5. 兄のそら寝/伊勢物語	第 5 回	3 回		(1 回)	後期中間	
12	6. 訓読の基本/故事成語/論語 冬季課題	第 6 回	2 回		(1 回)		
1	6. 訓読の基本/故事成語/論語		3 回				後期期末
2	後期まとめ		2 回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
地理総合	2 単位	高等学校 新地理総合（帝国書院）、標準高等地図（帝国書院）					
学習の目標							
1 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。							
2 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。							
3 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。							
スクーリング	1 単位時間× 1	レポート	全 6 回	定期試験	あり		
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	第 1 部 地図でとらえる現代世界 第 1 章 地図と地理情報システム		2 回	1 回			
5	第 1 章 地図と地理情報システム	第 1 回	4 回		(1 回)		
6	第 2 章 結び付きを深める現代世界	第 2 回	3 回		(1 回)	前期中間	
7	第 2 部 国際理解と国際協力 第 1 章 生活文化の多様性と国際理解	第 3 回	2 回		(1 回)		
8	夏季課題				1 回		
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	第 1 章 生活文化の多様性と国際理解	第 4 回	4 回	1 回	(1 回)		
11	第 2 章 地球的課題と国際協力	第 5 回	3 回		(1 回)	後期中間	
12	第 3 部 持続可能な地域づくりと私たち 第 1 章 自然環境と防災 冬季課題	第 6 回	2 回		(1 回)		
1	第 2 章 生活圏の調査と地域の展望		3 回				後期期末
2	後期まとめ		2 回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
歴史総合	2 単位	新選歴史総合（東京書籍）					
学習の目標							
1 近現代の歴史の変化に係る諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。							
2 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。							
3 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。							
スクーリング	1 単位時間× 1	レポート	全 6 回	定期試験	あり		
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	第 1 章 近代化と私たち 第 1 節 近代化への問い		2 回				
5	第 2 節 アジアの繁栄と西洋近代	第 1 回	4 回	1 回	(1 回)		
6	第 3 節 世界の一体化と多様な近代化	第 2 回	3 回		(1 回)	前期中間	
7	第 2 章 国際秩序の変化 第 1 節 国際秩序の変化や大衆化 第 2 節 第一次世界大戦と大衆社会	第 3 回	2 回		(1 回)		
8	夏季課題						
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	第 3 節 経済危機と第二次世界大戦	第 4 回	4 回		(1 回)		
11	第 3 章 グローバル化への問い 第 1 節 グローバル化への問い	第 5 回	3 回	1 回	(1 回)	後期中間	
12	第 2 節 冷戦と世界経済 第 3 節 世界秩序の変容と日本 冬季課題	第 6 回	2 回		(1 回) 1 回		
1	第 4 節 現代的な諸課題の形成		3 回				後期期末
2	後期まとめ		2 回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目		単位数	教科書・副教材等				
公共		2 単位	公共（東京書籍）				
学習の目標							
1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、論理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。							
2 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。							
3 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。							
スクーリング	1 単位時間× 1		レポート	全 6 回		定期試験	あり
評価	評価は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	第 1 部 「公共」のとびら 第 1 章 青年期を生きる私たち	第 1 回	2 回	1 回			
5	第 2 章 他者とともに生きる人間としてのあり方 第 3 章 公共的な空間における倫理	第 1 回	4 回		(1 回)		
6	第 4 章 公共的な空間における基本的原理 第 2 部 自立した主体として社会に参画する私たち 第 1 章 民主政治と私たち	第 2 回	3 回		(1 回)	前期中間	
7	第 2 章 法の働きと私たち	第 3 回	2 回		(1 回)		
8	夏季課題				1 回		
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	第 3 章 経済社会で生きる私たち	第 4 回	4 回		(1 回)		
11	第 4 章 私たちの職業生活	第 5 回	3 回		(1 回)	後期中間	
12	第 5 章 国際社会のなかで生きる私たち 冬季課題	第 6 回	2 回	1 回	(1 回)		
1	第 3 部 持続可能な社会づくりに参画するために		3 回				後期期末
2	後期まとめ		2 回			後期期末	

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
数学Ⅰ	3 単位	新数学Ⅰ（東京書籍）					
学習の目標							
1 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に氷原・処理したりする技能を身に付けるようにする。							
2 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について、論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の家庭や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。							
3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的に論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
スクーリング	1 単位時間×1	レポート	全 9 回	定期試験	あり		
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	1 章 数と式 1 節 文字と式	第 1 回	2 回		(1 回)		
5	1 章 数と式 1 節 文字と式	第 2 回	4 回	1 回	(1 回)		
6	1 章 数と式 2 節 実数 3 節 方程式と不等式	第 3 回	3 回	1 回	(1 回)	前期中間	
7	1 章 数と式 3 節 方程式と不等式 2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ	第 4 回	2 回				
8	夏季課題				1 回		
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ	第 5 回	4 回		(1 回)		
11	2 章 2 次関数 2 節 2 次関数の値の変化 3 章 三角比 1 節 鋭角の三角比 2 節 三角比の応用	第 6 回 第 7 回	3 回	1 回	(1 回)	後期中間	
12	3 章 三角比 2 節 三角比の応用 4 章 データの分析 1 節 データの分析	第 8 回 第 9 回	2 回		(1 回)		
1	4 章 データの分析 1 節 集合と論証		3 回				後期期末
2	後期まとめ		2 回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
数学 A	2 単位	新数学 A（東京書籍）					
学習の目標							
1 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。							
2 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。							
3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的に論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
スクーリング	1 単位時間×1	レポート	全 6 回	定期試験	あり		
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数		2 回				
5	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数	第 1 回	4 回		(1 回)		
6	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数	第 2 回	3 回		(1 回)	前期中間	
7	1 章 場合の数と確率 2 節 確率	第 3 回	2 回	1 回	(1 回)		
8	夏季課題				1 回		
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	1 章 場合の数と確率 2 節 確率	第 4 回	4 回		(1 回)		
11	2 章 図形の性質 2 節 三角形の性質 2 章 図形の性質 3 節 円の性質 3 章 数学と人間の活動 4 節 数学で遊ぶ	第 5 回	3 回		(1 回)	後期中間	
12	2 章 図形の性質 3 節 円の性質 3 章 数学と人間の活動 2 節 数のつくりをしらべる 冬季課題	第 6 回	2 回	1 回	(1 回)		
1	2 章 図形の性質 3 節 円の性質 3 章 数学と人間の活動 2 節 数のつくりをしらべる		3 回				後期期末
2	後期まとめ		2 回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目		単位数	教科書・副教材等				
科学と人間生活		2 単位	科学と人間生活（数研出版）				
学習の目標							
1 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。							
2 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。							
3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。							
スクーリング	1 単位時間× 4		レポート	全 6 回		定期試験	あり
評価	評価は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	第 1 編 物質の科学 第 2 章 衣料と食品		2 回	1 回	(1 回)		
5	第 2 章 衣料と食品	第 1 回	4 回	1 回	(2 回)		
6	第 2 編 生命の科学 第 1 章 ヒトの生命現象	第 2 回	3 回	1 回	(1 回)	前期中間	
7	第 3 編 光や熱の科学 第 1 章 光の性質とその利用	第 3 回	2 回	1 回	(2 回)		
8	夏季課題				2 回		
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	第 3 編 光や熱の科学 第 1 章 光の性質とその利用	第 4 回	4 回	2 回	(2 回)		
11	第 4 編 宇宙や地球の科学 第 2 章 自然景観と自然災害	第 5 回	3 回	1 回	(2 回)	後期中間	
12	第 4 編 宇宙や地球の科学 第 2 章 自然景観と自然災害 冬季課題	第 6 回	2 回	1 回	(2 回) 2 回		
1	第 4 編 宇宙や地球の科学 第 2 章 自然景観と自然災害		3 回				後期期末
2	後期まとめ		2 回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
体育 1	2 単位	現代高等保健体育（大修館）					
学習の目標							
1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。							
2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。							
3 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
スクーリング	1 単位時間× 5	レポート	全 2 回	定期試験	実技		
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	体づくり運動		2 回		(1 回)	—	—
5	球技（卓球）		4 回	3 回	(2 回)	—	—
6	球技（卓球）		3 回	1 回	(1 回)	—	—
7	スポーツの発祥と発展	第 1 回	2 回	1 回	(2 回)	—	—
8	夏季課題				3 回	—	—
9	前期まとめ		1 回			—	—
10	陸上競技（短距離）		4 回	3 回	(2 回)	—	—
11	球技（バスケットボール）		3 回	1 回	(2 回)	—	—
12	スポーツの発祥と発展 冬季課題	第 2 回	2 回	1 回	(2 回) 3 回	—	—
1	球技（バスケットボール）		3 回			—	—
2	後期まとめ		2 回			—	—
3						—	—

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
保健 1	2 単位	現代高等保健体育（大修館）					
学習の目標							
1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。							
2 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。							
3 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							
スクーリング	1 単位時間× 1	レポート	全 3 回	定期試験	あり		
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4					(1 回)		
5				1 回	(1 回)		
6	現代社会と健康	第 1 回	1 回			前期中間	
7					(1 回)		
8	夏季課題						
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	現代社会と健康	第 2 回		1 回	(1 回)		
11			1 回		(1 回)	後期中間	
12	安全な社会生活 冬季課題	第 3 回			(1 回) 1 回		
1			1 回				後期期末
2	後期まとめ					後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
書道Ⅰ	2 単位	書道Ⅰ（東京書籍）					
学習の目標							
1 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。							
2 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。							
3 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。							
スクーリング	1 単位時間×4		レポート	全 6 回		定期試験	実技
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	1. 漢字の書 楷書		1 回	1 回	(1 回)	—	—
5	1. 漢字の書 楷書	第 1 回	1 回	1 回	(2 回)	—	—
6	2. 漢字の書 行書	第 2 回	1 回	1 回	(1 回)	—	—
7	3. 漢字の書 草書	第 3 回	1 回	1 回	(2 回)	—	—
8	夏季課題				2 回	—	—
9	前期まとめ					—	—
10	4. 漢字の書 隷書・篆書	第 4 回	1 回	2 回	(2 回)	—	—
11	5. 仮名の書	第 5 回	1 回	1 回	(2 回)	—	—
12	6. 生活に広げる 冬季課題	第 6 回	1 回	1 回	(2 回) 2 回	—	—
1	6. 生活に広げる		1 回			—	—
2	後期まとめ					—	—
3						—	—

通信教育実施計画

科目		単位数	教科書・副教材等				
英語コミュニケーションⅠ		3単位	COMET English CommunicationⅠ（数研出版）				
学習の目標							
1 聞くこと・読むこと 多くの支援を活用すれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き（読み）取り、話し手（書き手）の意図を把握することができるようにする。社会的な話題については、必要な情報を聞き（読み）取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。							
2 話すこと〔やり取り・発表〕 多くの支援を活用すれば、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う（伝える）ことができるようにする。社会的な話題については、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う（伝える）ことができるようにする。							
3 書くこと 多くの支援を活用すれば、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを文章を書いて伝えることができるようにする。社会的な話題については、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを文章を書いて伝えることができるようにする。							
スクーリング	1単位時間×4		レポート	全9回		定期試験	あり
評価	評価は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して100点とし、5段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して100点とし、A/B/Cの3段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週5・3日	週1日	オンライン	5・3	1・オ
4	Lesson1 What Did You Do in Japan ? ー日本で何をしましたか。	第1回	2回	1回	(2回)		
5	Lesson2 When Do You Feel Happy ? ー楽しいのはどんなとき？	第2回	4回	2回	(2回)		
6	Lesson3 Onigiri Goes Overseas ? ーおにぎり人気は海外へ	第3回	3回	2回	(2回)	前期中間	
7	Lesson4 Pictogramsーピクトグラム	第4回	2回	1回	(2回)		
8	夏季課題				3回		
9	前期まとめ		1回			前期期末	前期期末
10	Lesson5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handlers ?ーハンドラー、森田優子	第5回	4回	2回	(2回)		
11	Lesson6 Convenience Stores: Keys to Their Success ? ーコンビニエンスストア：その成功のかぎ Lesson7 現在完了形 Lesson8 Smart Farming ?ースマート農業	第6回 第7回	3回	3回	(4回)	後期中間	
12	Lesson9 Food Waste ?ー食品廃棄 Lesson10 William and His windmill ? ーウィリアムの風車 冬季課題	第8回 第9回	2回	1回	(4回) 3回		
1	Lesson10 William and His windmill ? ーウィリアムの風車		3回				後期期末
2	後期まとめ		2回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目	単位数	教科書・副教材等					
家庭基礎	2 単位	図説家庭基礎（実教出版）					
学習の目標							
1 人の一生と家族・課程及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。							
2 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。							
3 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。							
スクーリング	1 単位時間× 2	レポート	全 6 回	定期試験	あり		
評価	評定は、出席・レポート・定期試験(実技)・授業態度・提出物を総合して 100 点とし、5 段階に換算 観点別評価は、上記評価要素から、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に該当する箇所を総合して 100 点とし、A/B/C の 3 段階に換算						
学習計画							
月	学習内容	レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
			週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
4	第 1 章 自分らしい生き方と家族		2 回				
5	第 1 章 自分らしい生き方と家族	第 1 回	4 回	1 回	(1 回)		
6	第 2 章 子どもとかかわる	第 2 回	3 回		(1 回)	前期中間	
7	第 3 章 高齢者とかかわる 第 4 章 社会とかかわる	第 3 回	2 回	1 回	(1 回)		
8	夏季課題				1 回		
9	前期まとめ		1 回			前期期末	前期期末
10	第 5 章 食生活をつくる	第 4 回	4 回	1 回	(1 回)		
11	第 6 章 衣生活をつくる	第 5 回	3 回		(1 回)	後期中間	
12	第 7 章 住生活をつくる 第 8 章 経済的に自立する 第 9 章 消費行動を考える 冬季課題	第 6 回	2 回	1 回	(1 回) 1 回		
1	第 9 章 消費行動を考える		3 回				後期期末
2	後期まとめ		2 回			後期期末	
3							

通信教育実施計画

科目		単位数	教科書・副教材等					
総合探究 1		2 単位	学校作成プリント					
学習活動：SDGs の 17 の目標について、調査を通じて内容を理解し、自己との関わりについて考える。								
スクーリング	1 単位時間× 4		レポート	全 2 回		定期試験	—	
評価	観点： ①課題解決に必要な知識や情報収集力を身につける。(知識・技能) ②自己との関わりから課題を見だし、情報を整理・分析し、まとめている。(思考・判断・表現) ③当事者意識を持ち、自己実現を図ろうとしている。(主体性) 評価： SDGs の目標が相互に関連していることを理解した。課題意識を持って調査を行い、持続可能な自己の取り組みについてまとめた。							
	学習計画							
月	学習内容		レポート	スクーリング・授業・(メディア)			定期試験	
				週 5・3 日	週 1 日	オンライン	5・3	1・オ
5	SDG s Goal 1 ～ 4			1 回	1 回	(1 回)	—	—
6	SDG s Goal 5 ～ 7		第 1 回	1 回	1 回	(1 回)	—	—
7						(1 回)	—	—
8						1 回	—	—
10	SDG s Goal 8 ～11			1 回	1 回	(1 回)	—	—
11						(1 回)	—	—
12	SDG s Goal 12～17		第 2 回	1 回	1 回	1 回 (1 回)	—	—

特別活動 1年

大原学園美空高等学校

1. 特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し

合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

2. 評価の観点については、学習指導要領等に示す特別活動の目標や学校として重点化した内容を踏まえ、各学校が評価の観点を定める。

①よりよい生活を築くための知識・技能

②集団や社会の形成者としての思考・判断・表現

③主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度

3. ホームルーム（LHR）活動計画

目標	自主的・実践的な集団活動を通じて、協働する力や責任感を育むとともに、自己の進路実現と社会的自立に向けた態度を養う		
1、2	新年度を迎えて	12～17	文化祭
3	スポーツ大会	18	生徒会選挙
4～8	遠足	19	スポーツ大会
9～11	体育大会	20～38	スノーボード・スキー教室

4. 特別活動の範囲

ア. ホームルームならびに学校行事、生徒会活動など、事前に予定され、指導計画されているものを特別活動とする。

イ. ホームルームは、50分を1単位時間として実施し、出席したものを1単位時間の参加とする。

5. 卒業要件 卒業までに30単位時間以上の活動が必要